

【令和5年度 第2回大山町総合教育会議】 議事録

日時 : 令和5年12月27日(水) 午前9時30分～
場所 : 名和公民館 第1会議室
大山町長 : 竹口大紀
教育長 : 鷺見寛幸
出席委員 : 山本健一、髯山洋美、向陽寛孝、門脇明子
欠席委員 : なし
その他の出席者 : 教育次長(赤路)、幼児・学校教育課長(源光)、社会教育課長(徳永)、
幼児・学校教育課 担当者(中井)

参観人 : 4人

教育長

ただいまより総合教育会議を行います。竹口町長より挨拶をお願いします。

町長

本日の議題は二つ御用意しております。まず一つは、今年度、在り方を検討しております公民館に関してですが、ワークショップを通して様々な御意見が出ております。委員の皆さんに御意見等いただきながら、この方向性でいいのかどうかという確認を進めていきたいと思っております。もう一つは、12月の定例議会で議会から債務負担行為等の承認をいただき取組を進めていこうと考えています英語教育の充実の施策についてです。その中でも特に、来年度は新たに語学留学を目的としたハワイの短期留学事業というものを、教育委員会で計画をしているところです。概要を説明させていただき委員の皆さんから御意見をいただきながら、内容の詳細をしっかりと進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

教育長

先週の金曜日に小学校、今週月曜日に中学校の2学期の終業式がありました。中学校は部活動と地域移行に向けて準備を進めているところですが、大山中学校のスキーは、この冬から地域移行ということでスタートしていますし、いろいろな競技についてもできるところから進めていく方向でいるところです。また、英語教育ですが、岡山市の石井小学校、豊橋市の八町小学校がイマージョン教育先進校ということで視察を行いました。大山町は昨年度よりオンライン英会話を開始しておりますが、今年度からは、ALTを各学校に配置し子ども達が英語に慣れ親しむ環境を整えつつあります。来年度の新

たな取組としては、ALTが英語以外のいろいろな教科に参加できるよう準備をしているところです。また、公民館事業の在り方について1時間という限られた時間ではありますが、忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

日程第2 協議事項

(1) 令和6年度から公民館事業について

社会教育課長

住民意見交換会のまとめということで、皆様に提示させていただいております。開催日につきましては、中山、名和、大山のそれぞれ3地区で、午前、午後の計6回行いました。実施内容として4人ないし5人でグループ化し付箋を活用した対応型のワークショップを行いました。質問内容として、公民館とは？についての共通認識の醸成、活動を実施する時に理想的な状態からの要素の抽出、建てる場所についてということで参加者の方に伺いました。資料にワークショップのまとめた内容を、提示しておりますので御確認いただければと思います。ワークショップには46名の方に参加していただき、公民館の大きな役割を確認していただきました。そして、何かの活動を行う上で皆が集まる場所が必要であるということをお皆さんと共通認識を持ちました。活動を実施する時の理想的な状態については、参加者の方が公民館を使って活動される中で、わくわくした体験や活動の中から要望を抽出しました。共通の目的として、活動に参加、活性化、仲間が増える、新たな出会い、活動することによって学びや気づきの喜び、自分の成長等、それぞれ感想をいただきました。活動を実施するために必要なことは、場所、環境、交通手段、お金、仲間、信頼関係、情報発信PR等をあげさせていただいております。拠点施設の場所については、身近であること、既存施設の利用、大山町にない施設、施設の機能・内容を重視するニーズがありました。例えば、自分で行ける場所、公共交通機関の接続の良いところ、それぞれの旧小学校区にあると良い等があがりました。また、大山町にない環境ということで、音楽やダンスができるホールがあればいい等も挙げられています。その他のご意見として、既存施設を利用して県内外の先進事例を研究してほしい、カフェや飲食の機能、無料Wi-Fi、お金のかからない施設、子どもが遊べる施設、バリアフリー等があがってきています。

町長

ただいま説明がありました住民意見交換会や公民館関連事業に関して、また、今後の方針等について皆さんから御意見、御質問等はございませんでしょうか。

委員

旧小学校区という表現で資料に書いてありますが、これはいわゆる、昭和の合併前の

旧町村単位というイメージですか。

町長

旧小学校区という表現は役場の中でよく表現されますが、曖昧ですので昭和の合併前の町村単位の10地区という表現のほうが良いと思います。今後は表現を工夫していただければと思います。

社会教育課長

わかりました。

委員

こちらの資料は皆さんの意見がよくまとめられているなと思います。難しく考えるよりは、地元住民の方が利用しやすく、通いやすく、集まりやすい施設であるべきだと思います。皆さんの意見が全部実現できる施設ができるなら最高だと思います。

町長

方向性としては良い方向性だというご意見をいただきました。ありがとうございます。

委員

46人の意見があまりにも広過ぎて絞らなければ、こういう施設は難しいと思います。

町長

全部の意見を反映させると、恐らく10億、20億では済まないと思いますので、予算の計画を考えながら絞り込みをする必要があります。また、いただいた意見を踏まえながら、どういうパターンで反映することができるか施設整備の在り方についても考えていきたいと思っています。

委員

資料のその他の部分にもありますが、エレベーターや車椅子対応の施設を優先すべきだと思います。

町長

県条例でもバリアフリー、いわゆるエレベーター、段差がない等は新たな施設を造る際に当然必要になっていますが、ここで言われているバリアフリーをどこまでやるのか、例えば視覚障害、聴覚障害のある方に配慮して全ての方がとにかく使いやすいようにというところまで追求していくのか、バリアフリーはいろいろあると思いますが、今後検

討して精査していきたいと思います。

委員

今、10の自主組織がありますが、私の近くの所子自主組織は育ってきていると感じます。先日、愛称を募集しましたが、「とこみんかん」という名称をつけられた方がおられました。地域の交流施設を公民館のように身近で感じておられることに私は感動しました。せっかく10地区に自主組織がありますので、地域の自主組織に公民館的な役割をもたせる形にして、名和地区に中央公民館的な複合施設的な施設があればと思っています。

町長

自主組織と公民館の関係性ということで、大山地区では分館があり自主組織との連携を深めています。住民の皆さんや議会の皆さんからいただいた意見として、活動が重なっているのではないかと意見がありましたので、今、精査をしながら進めてきたところです。分館のある地域では自主組織との連携内容が充実していますが、名和、中山地区は、分館がない体制できており合併して20年近く経ちますが、見直しが出来てないことも一つの課題だと思います。公民館の在り方、自主組織との関わりについては、考慮しながら進めていく必要があると思います。老朽化した公民館を地域の拠点としていくかについて、南部町のケースが非常に良い取組になっています。今までは、古い公民館で子ども達が使ってくれなかったということをお聞きしていましたが、とにかく明るくしたり、開放的な図書スペースを造ったり、子ども達のたまり場を造ったところ、利用が増え、子どもから高齢者まで幅広く利用していただけるようになったそうです。そのような施設整備が求められていると思いますし、だからこそ南部町がクローズアップされていると思います。老朽化した公民館の建て替えをし、町内に1ヶ所つくるのがいいのか何ヶ所か造るのがいいのか、分館との関わりかた等を、総合的に議論を深めていく必要があると思います。

委員

公民館は社会教育を公民館主催でやっていますし、名和や大山は図書館機能もありますが、今後はまちづくりが新しく機能として加わりますので、バランスを上手に組み合せ運営すると人が集まる良い施設が出来ると思います。箱をどこに置くかということも大事ですが、機能を上手にバランスよくしていくことが大切だと思います。旧町村単位で1つずつ寄りやすい拠点ができ、その上で町全体の公民館があるイメージが良いのかなと思います。

町長

機能によって地域の関わりが分断されるのではなく、包括的にいろいろな機能を持ち合わせて地域の人が集まり、小さい町でできる小さな町ならではのコミュニティー作りができると思います。社会教育をする拠点として公民館は必要ですが、公民館の中だけで社会教育が行われるわけではなく、社会教育が広く行われているその中のひとつの施設の機能として公民館があるという考えに基づいて整理をしていかないといけないと思います。

教育長

先ほど委員さんから、この地域自主組織の力が強くなってきて、10地区の中でもレベルが上がってきているという話がありました。私も教育長になるまでは、地域自主組織のメンバーと一緒に活動していましたが、本当に地域愛あふれる皆さんが、地域の課題を解決するために課題に向き合っているいろいろな活動されています。また、公民館と連携しながら、いろいろな事業を進められており、最初の頃は地区によって、ばらばらなイメージもありましたが今はどこも力が強くなっています。公民館の役割としての話もありましたが「集う、学ぶ、結ぶ」この活動をしっかり、どの地区でもやっておられる状態です。これから社会教育の拠点としての位置づけであります公民館の新たな体制が構築されますと、今後、大山町教育委員会の社会教育課と連携しながら、進めていくことができると思っています。議会の中でも、このことによって社会教育が衰退していくことでは困るという意見をいただいておりますが、むしろ、この新しい体制でより社会教育が充実していく方向で新たに進めていくよう教育委員会としても取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

町長

その他に御意見等ありますでしょうか。ないようですので、いただいた御意見を踏まえて次のステップに進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 英語教育の取り組みについて

町長

それでは協議事項の2つ目の協議について説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

大山町では様々な英語教育の充実について取組を進めていますが、新たな取組ということで、短期留学プログラムの事業を進めております。資料につきましては、先日の定例教育委員会で御説明差し上げた内容、また、議会の全員協議会等で説明差し上げた内

容と同じような資料を付けております。概要だけ説明をいたします。目的につきましては、大山町の教育振興基本計画で掲げている中の重点の一つである英語教育の充実がありますが、実際に海外の学校に留学をしてホームステイ等を活用していく中で、英語力とコミュニケーション能力の向上を目指すものです。事業の概要としましては、来年7月から8月にかけて、町内の学校の夏休み期間中に10日間、ハワイのミッドパシフィック インスティテュートに留学を行い、実際に英語力を高める取組を行っていきたいと考えております。この学校では英語を母国語としない留学生向けの英語力強化プログラム受講のプログラムがございますので、そちらの活用を考えております。対象者は大山町内の中学生を対象と考えており、現在、既に募集の準備を進めています。実施のスケジュールは、参加者の選定を2月に行い、その後、7月から8月の留学に向けて準備を進めていくというスケジュールの予定でおります。

町長

英語教育の取組についてということで、短期留学プログラム事業について皆さんから御意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

委員

この表には、12月参加者募集開始（予定）と書いてあるが、募集はもう始まっていますか。

幼児・学校教育課長

募集についてはもう既に始まっています。2学期終業式の1日前に文書配布をしました。今、お手元にお渡しをしたのは、実際に中学生に向けて募集ということで要項を配布したものです。大山町で既に以前から進めておりましたテメキュラ交流派遣も含めて一括の募集としております。内容につきましては、テメキュラ中学生派遣事業、ハワイ短期プログラム留学事業についてそれぞれ比較対照ができるような形で募集を行っているものです。1番最後のページに申込用紙があります。この配布用紙によって募集をかけている状況です。

教育長

自己負担の金額についてお願ひします。

幼児・学校教育課長

自己負担につきましては、テメキュラは自己負担10万円を予定としております。ハワイ留学事業は20万円を予定しておりますが、ハワイは英検3級以上取得の場合は自己負担の軽減の制度を設けており15万円の自己負担で参加ができる予定としておりま

す。

町長

その他、経済的に状況が厳しいというご家庭に対しては、要件ありますけれども自己負担額が半額で参加できる制度になっております。制度の中身に関しては事務局でも素案を作りながら、議会の皆さんにも意見をいただき反映させて最終決定したいと思っております。大筋としては議会からも認めていただいております。また、2月頃になると思いますが、現地の学校との協定の締結に向けた各種経費と大枠の方針を決めていきますが、プログラム等の中身が完全に煮詰まっていない段階ですので、委員の皆さんから御意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

教育長

英検3級以上取得の場合は5万円の自己負担減額についてですが、大山町では社会教育課が中心になって英語検定の助成をしています。子どもから大人まで、全ての受験者の方に上限1万円の助成をしています。また、受講に向けての講習会も計画しているところです。英検3級以上の力については、国や県も力を入れておまして、英検3級以上取得の全国一覧表では鳥取県は下の順位で非常に低い取得率です。県も国も中学生の50%以上の英検3級の取得を目標にしています。大山町はもう既に50%を超えていますが、更に国、県の基準よりも10ポイント上を目指しているところです。このことから英検3級以上の取得で5万円の補助が出るようにしています。

委員

ハワイは全泊ホームステイですか。

教育長

そうです。テメキュラもハワイも基本はホームステイです。

委員

治安は大丈夫でしょうか。何かあったときは受け入れ先が全責任をとるのか、また、引率の人の評価はどうでしょうか。

幼児・学校教育課長

ホームステイについては、ホームステイ専門の会社があり、そちらの活用を予定しておりますので何か緊急事態の場合は、企業の方に対応いただける形になります。

委員

観光都市ですので、場所によってはいろいろあると思います。何かあった時の対応が大切になると思います。

町長

保護者側としましても、安全安心が1番大切なところだと思います。事務局から説明がありましたが、今後、現地で何かあった場合にどういった対応がされるのかを、しっかり説明できるようにしていきたいと思います。

委員

テメキュラの募集要項にピアノを弾ける人は必ず記入とありますが、これはなぜですか。

委員

歓迎式等で大山賛歌や日本の歌を唄う時にピアノが弾ける子がいると伴奏ができるからだと思います。

委員

各小中学校にALTが在籍されていますが、英語は聞き取りがとても大切だと思います。例えば、日本の昔話を給食時間に英語で放送するとか、毎日放送することによって聞き取る力がついてくると思います。

町長

今、ALTの各校配置を今年度行いましたが、どう活かしていくかという段階に入ってきています。様々な先進事例を参考にさせていただきながら、英語が当たり前の環境に子ども達をおくように出来ないかと模索しております。昼休憩や給食を一緒に食べる等、できることから取り入れていきたいと思います。

教育長

学校の状況について説明をお願いします。

幼児・学校教育課参事

昼の校内放送で英語を流している学校もありますし、週に1回各学校のALTが集まり情報交換をしています。英語新聞を作って掲示をしていますが、全校に配布しようといった話もでていました。小学校ではALTに英語以外の授業にも入っていただいております、学校で好評です。先日も名和小学校でALTが集結しクリスマスコンサートを行いました。

教育長

空き教室を利用してイングリッシュルームを作っている学校があります。ALTがいろいろな掲示物を作って英語に親しむような掲示物があり、休憩時間に行くと一緒に遊んだりゲームや歌を歌ったり読み聞かせができます。掃除も一緒に行い、給食も食べ、登校から下校まで英語に触れ合えます。昨年度からオンライン英会話も行っていますので、聞く力、話す力が非常についてきています。ALTもレベルに差があるため情報交換や3人体制で英語の授業を行っています。

町長

県の教育委員会から、大山町の子ども達は、県内でリスニング、スピーキングの部分ではトップレベルだと言われました。

委員

うちの次女もテメキュラに参加させてもらいましたが、この金額で留学できるのは町の事業でないとできないと思います。こういう機会を作っていただくことで、どの家庭にも短期留学の機会があるということは素晴らしいことだと思います。次女は留学から帰ってきてからは英語に対する意識が変わり英語教育に対する向き合い方も変わりました。とても良い機会ですので、沢山の子ども達が意欲的に取り組んでくれたらと思います。けれども事務局の方が大変ではないかと思います。

町長

大変なところもあると思いますが、頑張って進みたいと思います。10日間の留学で、どれぐらい英語力が伸びるのかといたら限定的だと思います。ただやはり、留学で刺激を受け帰国してからの英語の学習への取組や友達への波及効果等、様々なプラス面があると思います。

委員

今年の文化祭で、中学生と次長さん教育長さんが大山賛歌を英語で唄われているのをテレビが拝見しました。

幼児・学校教育課参事

夏休みにイングリッシュキャンプを行い、その中で生徒がALTと大山賛歌を英訳したものです。

委員

その英訳した大山賛歌をもっと保育園等に浸透させるのはどうですか。

委員

英訳の仕方がその年によって違ってきますよね。

町長

いろいろな解釈や表現があるのでその年によって変わってきます。標準的な公式の意味や訳を用意してしまうとワークショップの意味がなくなってしまうため、その年その年によってのオリジナルで英訳した大山賛歌になります。

教育長

イングリッシュキャンプは今年度初めて行いましたので、小学生が日帰り、中学生は1泊2日で行いました。とても手応えを感じましたので、来年度は、小学生は1泊2日、中学生は2泊3日で予定しております。今年応募した子は全員受け入れましたが人数的には少なかったです。

委員

大山公民館でキッズ英語を募集していた時は応募が多かったように思います。

町長

公民館事業は、中身やクオリティーが申し込む前からイメージし易いので、安心して申し込めると思います。教育委員会の安心感がないということではないですが、今年度の様子も伝わりますし、大山チャンネルで放映されていますので、来年度からは参加者が増えると思います。その他御意見がないようでしたら、本日いただいた御意見を参考にしながら進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(3) その他

町長

組織の再編に伴って公民館の事務分掌を町長部局に変更することについては、11月の定例教育委員会で承認をいただいております。また、総合教育会議や議会の全員協議会で提案させていただいております。提案後に町長部局の課の名称について御意見をいただく機会がありましたので、1月の臨時会で再度、提案をしていこうと考えています。機構改革等の承認いただいたその先も詰めていく必要があると思っておりますが、並行して事務の細かいところは社会教育課と町長部局で話をしていきたいと考えています。御意見、御質問等がありましたらお願いしたいと思います。よろしいようでしたら協議事項は以

上で終了となります。

教育長

今日は、たくさんの御意見をいただきありがとうございました。先ほど、町長からもありましたが、定例教育委員会等でお気づきの点がありましたら、御意見をいただければと思います。本日はお忙しい中ありがとうございました。以上で、第2回総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。